

KAWASAKI

川崎

情報は
こちらへ

●川崎総局 ☎044(222)4455
☎044(211)0555

かながわ人 @川崎



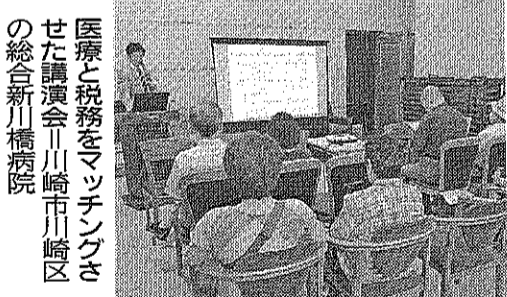
不動産会社経営
富田 公一さん(64)

商店街 若手が支えて

JR川崎駅西口に近い川崎市幸区の「栄通り商店街」で、父親の代から続く不動産会社を営む。「昔ながらの商店街。みんな優しく、人情味があってね」

近くに大型商業施設が開業してから、ここ数年は人通りが少なくなった。高齢化も進み、店を閉める人が増えているという。

28~34歳の息子3人も同じ会社に勤める。社業はもちろん、今後の商店街を支える貴重な戦力としても期待している。「若い人に頑張ってもらい、『通過する商店街』ではなく、お客さんが頻りに足を運んでくれる商店街にしたい」



医療と税務をマッチングさせた講演会「川崎市川崎区総合新川橋病院」

多摩区 まちづくり協議会

多摩区まちづくり協議会(以下まち協)は2008年、誰もが住み続けたいと思える町を目指し、区と協働して区民が主体的に課題を解決しようと発足した。現在、シニア世代を中心に委員30人がまち協の活動発表会「まちカッター」や、市民活動団体との意見交換会「たまサロ」など、市民活動団体やボランティアに関心層に学びと交流を提供する「多摩★まち大学」などを運営している。

安心子育てのまちへ



を企画。40歳以上の主に男性をターゲットにした。区の子育ての現状を「知る」をキーワードにした1回目の講座には、約30人が参加した。

第2回の子育て支援団体の活動「知る」では、「社会から取り残されている気持ち」というママたちの孤独感に響き、最近の「イクメン」の様子にも話題は及んだ。第3回「考える」は9月7日に開催を予定している。シニアができる子育て支援の提案づくりが講座のゴール。その後、子育て支援活動団体へ提案し、シニアの子育て支援活動の参加を目指す。

講座企画検討チーム代表の高瀬健男さんは、「地域で本当に支援を必要としている人は誰か。まち協としてあらためて考えたとき、核家族化の中で子育て世代が見えにくくなった。まずはシニア自身が平成版子育ての現場を覗いて感じ、考えることから始めたい」と話している。

(市民記者・清水 まゆみ)

かわさき市民活動センター ☎044(430)5566
<http://www.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp>

市内製品PRし10周年 協議会会長ら市長訪問



川崎市役所
かわさきキャンペーン」を展開している。

市内製品を市内で消費拡大するための活動をしている「Buyかわさき出品者協議会」の三藤哲也会長らが30日、同協議会創立10周年式典の案内と市民祭りでの販売するドーナツを阿部孝夫市長に贈呈するため、川崎市役所を訪問した。

川崎市と川崎商工会議所は2002年から、市外へ流れる購買力を市内で循環させ、地域経済活性化を図るため、市内製品の優先使用や買い物、食事など市内の消費拡大に向け「Buy

を交わした阿部市長は、「飼育者が分からなくなったペットについてもどう扱っていくのか、協定できちんとした対応ができるようになる」と意義を話した。

3者は今後、支援活動を円滑に行うため、普段から連絡会や研修会を開催していく。

医療と税務 患者の学び

総合新川橋病院

医療と税務のコラボレーション(協働)による講演・相談会が27日、川崎市川崎区の総合新川橋病院で開かれた。同病院と東京地方税理士会川崎支部が連携し、外来患者や近隣住民らが聴講した。

医療では、同病院の佐藤志郎・健康管理センター副科長が「脳ドック」をテーマに講演。「くも膜下出血を未然に防ぐには、破裂する前に受診し、脳動脈瘤を見つけておくことが大切」と呼び掛けた。

税務では、同支部の青松利幸税理士が講師を務め、

この日、ことしかかわさき市民祭りで販売予定のドーナツなどを持参した三藤会長は「10年がたち、これまで以上に協議会が担う責任が大きくなっている。発信力を強くして市民にPRして販売していきたい」と述べ、阿部市長は「販売促進のやり方を確立してほしい。さらにリピーターをつくらないといけない」などとアドバイスした。

(鈴木 昌昭)

動向

30日

阿部川崎市長【午前】▽浮世松の斎藤コレクションを鑑賞(三委一号館美術館)【午後】▽三藤哲也・Buyかわさき出品者協議会会長ら▽伊藤経済労働局長▽稲垣探検局長▽政策・調整会議▽総務局長▽総合企画局▽健康福祉局▽川崎市と日本動物福祉協会おひび日本愛玩動物協会の「災害時における動物救済活動の協働実施に関する協定書」締結式▽伊藤健康福祉局長▽田中まちづくり局長▽船橋総務局長▽岡元茂樹・電機連合会神奈川地方協議会議長ら▽経済労働局長▽深澤淳志・国土交通省関東地方整備局長▽齋藤副市長▽山下秀男氏旭日堂光章受章を授け(横浜ベイホテル東急)。



市が作成した「ペットの飼い主のための防災手帳」

東日本大震災では、津波などによって被災した住民が避難を余儀なくされた。このうち、ペットと一緒に避難する「同行避難」について、環境省は今年、ガイドラインを策定。災害時には、ペットの犬・猫は飼い主と一緒に避難させることを原則とし、地方自治体に態勢整備を促している。しかし、避難所によって考え方が異なり、受け入れ環境が整っていないケースも多いのが現状。市生活衛生課の担当者は「例えば施設の一部を使い、避難所であ

画に基づき「動物救護センター」を設置し、負傷したり飼育主はくられたりしたペットなどを保護することになっている。今回の協定により、両協会は保護が避難を余儀なくされた。このうち、ペットと一緒に避難する「同行避難」について、環境省は今年、ガイドラインを策定。災害時には、ペットの犬・猫は飼い主と一緒に避難させることを原則とし、地方自治体に態勢整備を促している。しかし、避難所によって考え方が異なり、受け入れ環境が整っていないケースも多いのが現状。市生活衛生課の担当者は「例えば施設の一部を使い、避難所であ

響かせる職人の技とひとこと語り」でも知られている。

17世紀 プッサンから、モネ、ルノワール、ゴッホ、ピカソやマチスまで。

<http://softicon.iwasaki.ac.jp/>



第30回 美術展